16　食に関する指導の全体計画

諫早市立飯盛中学校

【生徒の実態】
・偏食のある子どもが見られる。
・朝食の欠食は少ないが，内容が充実していない。
・食物アレルギーの生徒がいる。

【保護者・地域の実態】
・共働き家庭や、望ましい食習慣の形成が不十分な家庭が増加している。
・野菜の生産地域だが，野菜の摂取量が少ない。

学校教育目標

３つのだいじと　３つの心
命をだいじに　人をだいじに　自然をだいじに美しく
やる気（心）　思いやりの心　たくましい心の育成

【第４次食育推進基本計画】
・朝食を欠食する生徒は少ない
・栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民　70%

【長崎県諫早市食育推進計画】
・朝食を毎日食べる子　100%

【教育委員会指導方針】
・朝食を必ず食べさせる
・給食指導（昼食指導）を充実させる
・食に関する体験を数多くさせる

食育の視点

◇食事の重要性
◇心身の健康
◇食品を選択する能力
◇感謝の心
◇社会性
◇食文化

食に関する指導の目標

（知識・技能）
心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付けている。

（思考力・判断力・表現力等）
食生活や食の選択について、正しい知識・情報に基づき、自ら判断し実践できる。

（学びに向かう力・人間性等）
食や食文化に関心をもち、食料の生産等に関わる人々へ感謝し、食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付けている。

幼稚園等 → 小学校

・食事を通して豊かな心と好ましい人間関係を育てる。
・日常の食事に関心を持ち、バランスのとれた食事の大切さがわかる。
・食文化や食品の生産・流通・消費までの流れを理解することができる。
・朝ごはんの意義を理解し、朝ごはんを食べる。　など

各学年の食に関する指導の目標

1年	2年	3年
・自分の食生活の問題点に気づき，改善点を考えることができる。 ・青少年期の心身の成長と食生活のつながりに関心と理解を深める。	・生涯の健康は成長期の食生活のあり方に左右されることを理解し，望ましい食習慣を身につける。	・正しい食習慣を身につけることにより，自己管理能力を育て，心身共に調和のとれた自己を育成する。

食育推進組織　「食育委員会」
委員長・・・校長
委員・・教頭、栄養教諭、養護教諭、食育担当、給食配膳員など

食に関する指導

教科等における食に関する指導：関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導
社会、理科、技術・家庭、保健体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動　など
給食の時間における食に関する指導：家庭との連携をはかりながら，望ましい食習慣を身につけると共に，３つのだいじ，３つの心を育成する。
個別的な相談指導：　偏食や過食，アレルギー，肥満痩身傾向にある生徒へ指導を行う。
・給食時間における指導　・個別相談の実施　・各種便りでの啓発

地場産物の活用

物資選定委員会：年1回（構成委員･･･市教委、栄養教諭、給食担当教諭、保護者）
地場産物使用推進週間の紹介、「県内まるごと長崎県給食」の実施、給食週間の実施。
諫早産の野菜等の利用（ＪＡとの連携等）

家庭・地域との連携

学校における食に関する指導について，家庭，地域にも指導内容を伝え理解と協力を得ながら，食育の推進を図る。
・各種便りでの啓発　・郷土料理教室　・研修会，講演会　・人参の収穫

食育推進の評価

活動指標：年間計画どおりに実施できたか評価する。
成果指標：食習慣の状況（朝食・給食の摂取など）について意識が高まったか評価する。